

今日と、明日 十勝管内 一斉取り締まり

会社から出る時は、“左右の安全確認” トラックと衝突 男性が重体

[2015/9/3 20:51]

3日午前5時20分頃、長崎県の市道で直進していた乗用車が会社の敷地から出て右折していた大型トラックの後ろ部分に衝突した。この事故で乗用車を運転していた30代とみられる男性が頭などを強く打ち意識不明の重体。大型トラックを運転していた50代の男性にケガはなかった。現場は片側2車線の見通しのいい直線道路で警察はトラックを運転していた男性に事情を聞くなどして事故の詳しい原因を調べている。

交通死亡事故抑止に向けた交通安全運動の推進について

2015/09/03 北海道警察釧路方面本部

- 交通事故の死者数 ⇒ 9月2日現在117人（前年同月比13人増加）
- 8月5日以降、死亡事故が異常なペースで発生 ⇒ 全国順位が“ワースト3位”
- ◇警察による、「夕暮れ時間帯」を重点としたパトライト作戦（毎週木曜日の夕暮れ時間帯は一斉）
- ◇ドライバーの安全意識の高揚 ⇒ 「旗波等による街頭啓発活動」
- ◇高齢者を交通事故原守る ⇒ 「交差点等における交通安全指導」
- ◇「デイ・ライト運動」の継続実施

日没前後の交通事故死 9月以降に大幅増

「いきなり、渡るとは…」（対歩行者・対自転車事故）
・「人通りが少ない住宅地域」の道路では、
「歩行者」、「自転車」を探すつもりで、「道路脇」のあちこちに「目配り」しながら運転しましょう。

2時間ごとに、15分休憩！

危ない自転車、後絶たず！

北海道内の路上、事故起こせば高額賠償、9500万円の高額賠償も…

サイドブレーキだけで、輪止めせず
ごみ収集車が坂道50メートル自走、自転車と接触

荷締めの確認、カーブの安全走行
トラックの荷台から落下した丸太 対向車を直撃、運転手死亡

大型スーパー付近、高齢歩行者の“危険横断”に注意！

トラック事故の特徴 “追突事故”が多い
低速走行に「安心して」…長い「わき見」をしない

労災事故 「経営トップが率先して対策を行うことが求められる」 労災死亡事故倍増 8月末時点

2015年9月4日（金）

愛媛労働局は3日、2015年の労働災害による死者が8月末時点で12人になり、前年同期の2倍に上ったと発表。局健康安全課は「労災による死傷者は前年から減少しているが死者が増加している。基本的な安全対策が取られていない事例が多く見られ、経営トップが率先して対策を行うことが求められる」と訴えている。

駐車場 バックさせて止めようとした 77歳夫が78歳妻をはね死亡させる

2015/09/04

3日午前11時40分ごろ、兵庫県の駐車場で、近くに住む無職男性(77)が車をバックさせて止めようとしたところ、後方にいた妻(78)をはねた。妻は病院に搬送されたが、全身を強く打っており、間もなく死亡が確認された。警察によると、夫婦はこの日、車で一緒に買い物に出かけており、帰ってきて妻が先に車を降りていたところ、バックしてきた夫の車にひかれたという。

深夜 路上のキャリアカーの運転手が、“下し作業中”、車にはねられ重傷

(2015年09月04日)

4日午前0時ごろ、熊本県の国道で路上に停めたキャリアカーから国道沿いの自動車販売店に車を降ろす作業をしていた男性が乗用車にはねられ重傷を負いました。

信号機がない交差点 出合い頭に衝突 車同士衝突 1人死亡1人重体

(2015年09月04日)

4日午前6時40分ごろ、富山県の交差点で右折して国道に出ようとした乗用車と国道を走ってきた乗用車が出合い頭に衝突しました。この事故で右折しようとした車を運転していた男性(75)が死亡、助手席に乗っていた女性が意識不明の重体です。現場は、信号機がない交差点で一時停止の標識。